

平成23年度

公立大学法人静岡文化芸術大学  
事業報告書

# 平成 23 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

平成 23 年度の事業については、中期計画の達成に向け、これまでの事業内容と進捗状況を検証し、自己点検・評価の結果を踏まえ、本学の将来を見据えて、教育の充実、学生支援の充実、研究の推進、地域貢献及び国際交流の推進、FD・SD活動の推進等を重点に置いて、次のとおり実施した。

## 1 法人運営管理

(1) 役員会、経営審議会、教育研究審議会及び参与会の開催等

### ア 役員会の開催

役員会を 14 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する審議を行い、その決定をした。

回数	開催日	議 案
第1回	4 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・理事長の専決処分の承認(名誉教授の称号授与)</li><li>・専任教員の採用 (協議事項)</li><li>・進路部長の職設置</li><li>・経済産業省(中小企業庁)の戦略基盤技術高度化支援事業への応募</li></ul>
第2回	5 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・進路部長の職設置</li><li>・東日本大震災への対応</li><li>・諸規程の制定及び一部改正</li><li>・専任教員の採用</li><li>・受託事業</li></ul>
第3回	5 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・専任教員の採用</li></ul>
第4回	6 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 22 年度事業報告及び決算報告</li><li>・平成 22 年度実績報告</li><li>・国際交流の基本方針</li><li>・経営審議会規程の一部改正</li><li>・授業料の分割納入に関する規程の一部改正</li><li>・期間契約職員、非常勤職員及び臨時職員の就業規程の一部改正</li><li>・理事長の専決処分の承認(特別研究費の配分決定)</li><li>・受託事業</li><li>・大学学則及び大学院学則の一部改正</li></ul>
第5回	7 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・受託事業</li><li>・ハラスメント防止に関する規程の一部改正</li></ul>

第6回	9月14日	・非常勤講師の委嘱
第7回	10月12日	・非常勤講師の委嘱 ・理事長の専決処分の承認(非常勤講師の委嘱)
第8回	11月9日	・専任教員の採用 ・非常勤講師の委嘱 (協議事項) ・カリキュラム改正基本方針(案)
第9回	11月29日	・カリキュラム改正基本方針 ・平成23年度収支補正予算 ・職員給与規程及び教員給与規程の一部改正 ・役員報酬規程の一部改正 ・役員退職手当規程の一部改正 ・理事長の報酬の支給額 ・受託事業 (協議事項) ・剰余金を活用した事業方針(案)
第10回	12月14日	・社会人聴講生規程の一部改正 ・研究生等の入学検定料等に関する規程の一部改正 ・理事長の専決処分の承認(非常勤講師の委嘱)
第11回	1月11日	・非常勤講師の委嘱
第12回	2月8日	・非常勤役員災害補償規則の一部改正 ・非常勤講師の委嘱 (協議事項) ・平成24年度事業方針(案) ・平成24年度年度計画(案)
第13回	3月7日	・予算管理規程の一部改正 ・シンボルマーク等に関する規程の制定 ・文化・芸術研究センター運営委員会規程の一部改正 ・非常勤講師の委嘱 ・受託事業 (協議事項) ・平成24年度事業方針(案) ・平成24年度年度計画(案) ・平成24年度収支予算(案) ・副学長及び文化・芸術研究センター長の選任

第14回	3月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度事業方針</li> <li>・平成24年度年度計画</li> <li>・平成24年度事業計画及び収支予算</li> <li>・平成24年度特別研究費等の配分</li> <li>・予算管理規程の一部改正</li> <li>・大学学則及び大学院学則の一部改正</li> <li>・職員就業規則の一部改正</li> <li>・委員会関係規程の一部改正</li> <li>・名誉教授の称号授与</li> <li>・招聘客員教授の任用</li> <li>・専任教員の採用</li> <li>・非常勤講師の委嘱</li> </ul>
------	-------	--

#### イ 経営審議会

経営審議会を7回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案
第1回	5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路部長の職設置</li> <li>・東日本大震災への対応</li> <li>・諸規程の制定及び一部改正</li> </ul>
第2回	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度事業報告及び決算報告</li> <li>・平成22年度実績報告</li> <li>・国際交流の基本方針</li> <li>・経営審議会規程の一部改正</li> <li>・授業料の分割納入に関する規程の一部改正</li> <li>・期間契約職員及び非常勤職員の就業規程の一部改正</li> </ul>
第3回	11月9日	<p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム改正基本方針(案)</li> </ul>
第4回	11月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム改正基本方針</li> <li>・平成23年度収支補正予算</li> <li>・職員給与規程及び教員給与規程の一部改正</li> <li>・役員報酬規程の一部改正</li> <li>・役員退職手当規程の一部改正</li> </ul> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剰余金を活用した事業方針(案)</li> </ul>

第5回	2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤役員災害補償規則の一部改正 (協議事項)</li> <li>・平成24年度事業方針(案)</li> <li>・平成24年度年度計画(案)</li> </ul>
第6回	3月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算管理規程の一部改正 (協議事項)</li> <li>・平成24年度事業方針(案)</li> <li>・平成24年度年度計画(案)</li> <li>・平成24年度収支予算(案)</li> <li>・副学長及び文化・芸術研究センター長の選任</li> </ul>
第7回	3月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度事業方針</li> <li>・平成24年度年度計画</li> <li>・平成24年度事業計画及び収支予算</li> <li>・平成24年度特別研究費等の配分</li> <li>・予算管理規程の一部改正</li> </ul>

#### ウ 教育研究審議会

教育研究審議会を12回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議 題
第1回	4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学学則及び大学院学則の一部改正</li> <li>・資格課程・学芸員養成課程の変更</li> </ul>
第2回	5月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流の基本方針</li> <li>・大学学則及び大学院学則の一部改正</li> <li>・授業料分割納入に関する規程の一部改正</li> </ul>
第3回	6月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖西大学校大学からの交換留学生受入れ及び派遣</li> <li>・浙江大学生学院からの交換留学生受入</li> </ul>
第4回	7月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(協議事項)</li> <li>・各種委員会の構成員の取扱い</li> </ul>
第5回	8月4日	(報告事項のみ)
第6回	9月1日	(報告事項のみ)

第7回	10月6日	・学会の開催
第8回	11月10日	・学部の教育課程改正基本方針 ・平成24年秋期オープンキャンパスの取りやめ ・平成24年度学年暦
第9回	12月1日	・社会人聴講生規程及び研究生等の入学検定料等に関する規程の改正 ・平成24年度以降入学生適用司書課程の変更
第10回	1月5日	(報告事項のみ)
第11回	2月2日	・デザイン研究科デザイン専攻授業科目の一部改正
第12回	3月1日	・平成24年度事業方針及び年度計画 ・規程の改廃

#### エ 参与会

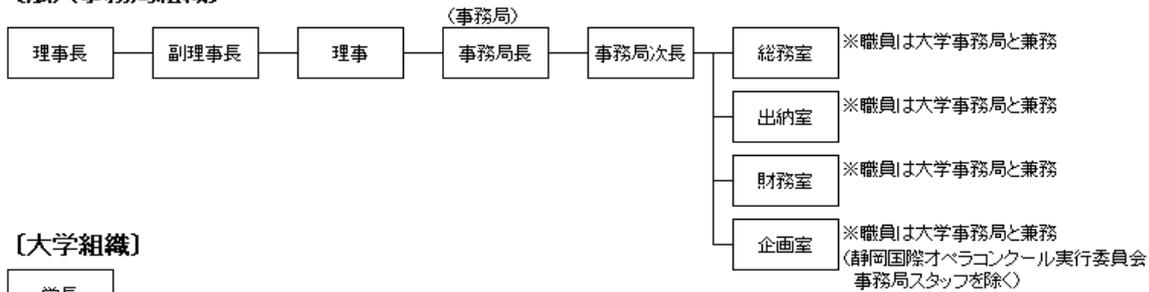
法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を2回開催した。

区分	開催日	提案された主な意見等
第1回	10月12日	・産学連携による就職支援活動の充実 ・現場での必要な判断能力のある人材育成 ・自己の意見を語れる人材の育成
第2回	3月7日	・企業が求めるコミュニケーション能力を高める教育の充実 ・学部・学科の再編成に当たっての地元産業界からの意見聴取

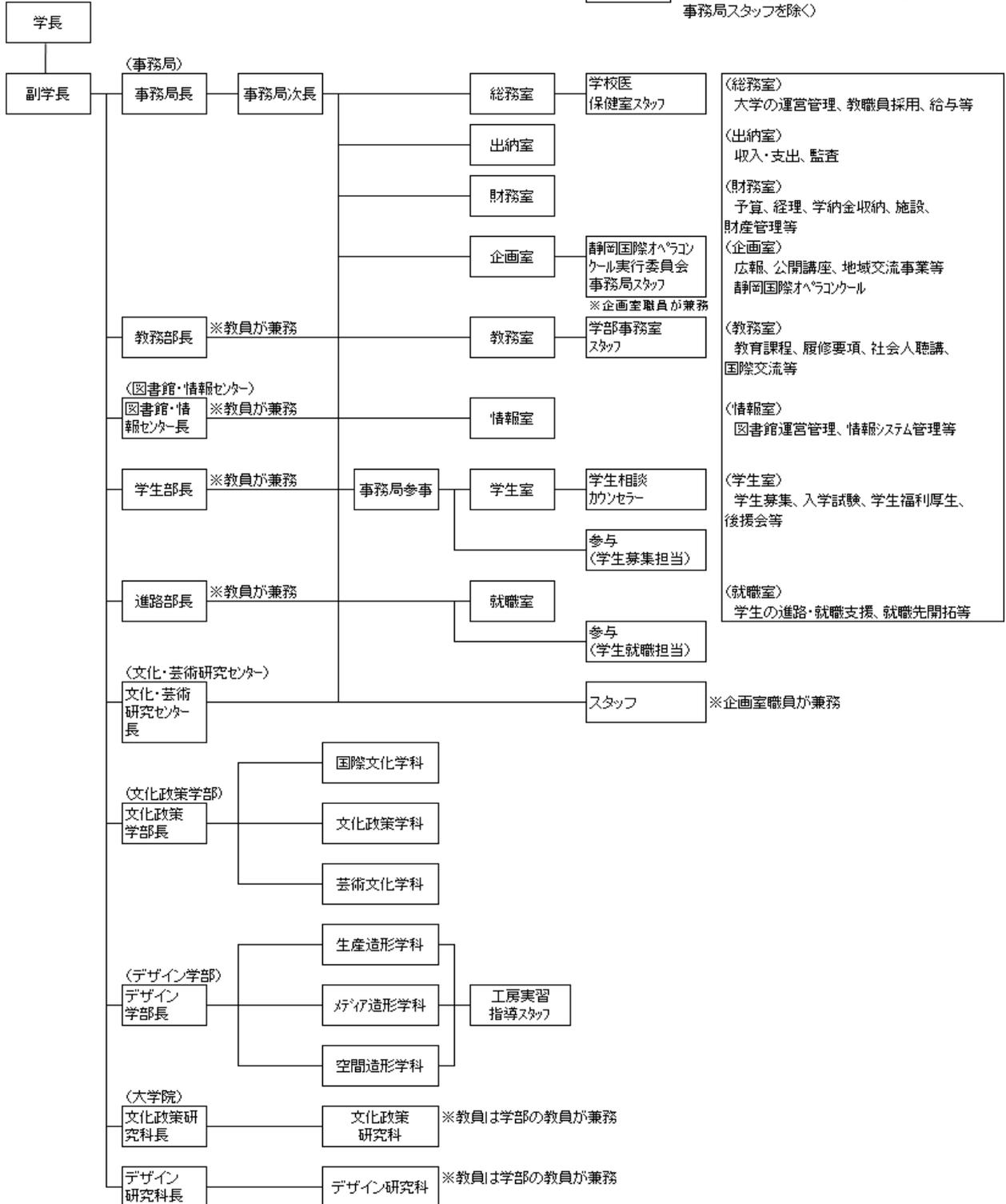
#### (2) 法人及び大学組織

法人及び大学組織とし、それぞれに職員を配置し、法人及び大学運営を執行した。

【法人事務局組織】



【大学組織】



(3) 運動場用地の借用等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地） ・面積：8,584 m<sup>2</sup>
- ・賃借料：無償

(4) 教職員住宅の確保

ア 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町） ・戸数：25 戸

イ 借上住宅

ビオラ田町に入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、4 戸の借上住宅を提供した。

(5) 校舎管理

ア 大学校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。

a 主な委託業務内容

警備業務：24 時間体制の有人による警備

清掃業務：床、窓、トイレ等の定期的な清掃

設備管理：中央制御監視又は遠隔操作等による 24 時間管理体制、設備保守等は  
有人による管理

b その他：電話、電気、消防用施設、昇降機、植栽等の管理業務を委託

イ 施設・設備の整備

施設管理業務支援の電算システムによる施設・設備の長期保全計画策定への取組をした。

## 2 教育研究の実施

(1) 授業実施等

ア 学生の状況（学部）

（平成 23 年 5 月 1 日現在）

学部名	学科名	定員 (人)	学 生 数 (人)						
			1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合 計		
							計	男子	女子
文化 政策 学部	国際文化学科	100	105	109	109	127	450	75	375
	文化政策学科	50	64	55	65	65	249	92	157
	芸術文化学科	50	60	58	63	70	251	36	215
	小計	200	229	222	237	262	950	203	747
デザ イン 学部	生産造形学科	40	43	43	47	46	179	43	136
	メディア造形学科	30	37	37	33	33	140	31	109
	空間造形学科	30	33	34	38	39	144	50	94
	小計	100	113	114	118	118	463	124	339
計		300	342	336	355	380	1,413	327	1,086

イ 学生の状況（大学院） （平成 23 年 5 月 1 日現在）

大学院	定員 (人)	院 生 数 (人)				
		1 年生	2 年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10	12	17	29	6	23
デザイン研究科	10	12	17	29	13	16
計	20	24	34	58	19	39

ウ 授業日程等

日 程	授業等
4 月 4 日	入学式
6 日	開学記念式（開学記念日：4 月 13 日）
8 日	前期授業開始
8 月 6 日・7 日	オープンキャンパス（参加数：1,800 人）
8 月 11 日	前期授業終了（集中講義等も含む。）
9 月 26 日	後期授業開始
10 月 1 日	オープンキャンパス（参加数：430 人）
11 月 5・6 日	碧風祭
2 月 15 日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3 月 15 日（予定）	卒業式

エ FD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組み

教育・FD 推進委員会を設置し、組織的に教員の意識啓発を図るとともに、効果的な FD 活動を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科 FD 研修会の実施
- ・FD ニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・授業に関するアンケートの実施

(2) 科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

ア 受入時期 年 2 回（出願時期 前期：2 月、後期：8 月）

イ 受入人数 1 科目につき 5 人程度

ウ 履修科目 本学開設科目のうち、科目等履修生及び社会人聴講生公開科目

エ 履修期間 原則 6 ヶ月以内

オ 受講者数 (人)

区 分	前 期		後 期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	2	2	0	0
社会人聴講生	147	194	139	193
計	149	196	139	193

(3) 教員研究の実施

研究推進委員会を新規に設置し、学内特別研究費に係る配分方針を明確化するとともに、その研究成果の評価方法を作成し、平成 24 年度から試行的に実施することとした。

また、外部資金を活用した研究等についても、積極的な推進を図った。

ア 学内特別研究費による研究

ユニバーサルデザイン等の 3 つの重点目標研究領域を設定し、組織的、戦略的な研究活動を推進するとともに、学長等特別研究費による研究を実施した。

- ・学長等特別研究費による研究件数 36 件

イ 外部資金を活用した研究

科学研究費補助金を活用した研究を実施した。

- ・実施件数 16 件 (新規採択 6 件、継続実施 3 件、他機関からの転入 2 件、他機関研究者との分担研究 5 件)

ウ 共同研究及び受託研究等

外部機関との共同研究、外部機関からの受託研究及び受託事業を実施した。

- ・共同研究 1 件 500 千円 (電動工具の人間工学的研究)
- ・受託研究 4 件 3,617 千円 (音響機器が人間に与える影響の研究ほか)
- ・受託事業 4 件 3,755 千円 (東静岡駅南口県有地の活用イメージの作成業務ほか)

(4) 語学研修の実施

学生の語学能力を高めるため、次のとおり語学研修を実施した。

ア 英語研修

- ・研修先 ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド (イギリス・ウェールズ)
- ・研修生 19 人
- ・実施時期 8 月 15 日から 9 月 9 日までの約 4 週間

イ 中国語研修

- ・研修先 对外経済貿易大学 (中華人民共和国・北京市)
- ・研修生 6 人
- ・実施期間 8 月 8 日から 8 月 31 日までの約 4 週間

ウ フランス語研修

- ・研修先 ブルゴーニュ大学附属国際フランス語研修センター (フランス・ブルゴーニュ)
- ・研修生 13 人
- ・実施期間 8 月 29 日から 9 月 23 日までの約 4 週間

### 3 大学広報及び学生募集

本学に相応しい学生を確保するため、新聞掲載等の各種広報や学校説明会等の学生募集事業を実施した。

平成 23 年度入試の結果概要及び 24 年度入試の実施方法の周知を広報内容の重点とし、またオープンキャンパスにおいては、入試概要説明のコーナーや個別受験相談のコーナーを設置するなど効果的な広報を行った。

#### (1) オープンキャンパスの実施

- ア 開催日 8月6日(土)、8月7日(日)及び10月1日(土)
- イ 事業内容 大学説明、学科説明、模擬授業、受験相談、実技講習会等
- ウ 参加対象 高校生を中心とした受験生
- エ 参加者数 2,230人(8月:1,800人、10月:430人)

#### (2) 高校訪問等

教職員が県内外の高校等に出向き大学のPR等を積極的に行った。

また、静岡県内国公立大学合同入試説明会(年間7回、三島・静岡・浜松・豊橋にて開催)に参加し、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点対象地区として積極的に広報を行った結果、当該地区から昨年度とほぼ同数の入学者を確保することができた。

(県東部地区 22人→23人、愛知県 64人→70人)

#### (3) 広報媒体による大学広報

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口(入学者募集)・中身(教育研究、学生生活)・出口(就職支援)に係る広報を実施した。

#### (4) パンフレット等の作成

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集(カレンダー形式)、ニュースレター(新聞記事集)等を作成し、高校や予備校等に配付した。

#### (5) Webサイトによる情報提供

入試情報やイベント開催情報、本学学生の活躍の様子を掲載した。また、新たに平成 23 年 4 月から、本学の教育研究目的等の教育情報についても掲載した。

#### (6) 大学院の学生募集

研究意欲のある優秀な院生を確保するため、デザイン研究科において、前年に引き続き学内推薦入試を実施し、この入試制度による入学者を 1 名得ることができた。

### 4 入学試験の実施

#### (1) 学部学生

- ア 募集人員 300人(入学定員と同数)
- イ 募集方法 一般選抜(前期日程・後期日程)、特別選抜(推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試)

ウ 試験時期

区 分		文化政策学部	デザイン学部
一般選抜	前期日程	2月25日、26日	
	後期日程	3月12日	
推薦入試		11月26日	
社会人入試		11月26日	
帰国生徒入試		11月26日	2月25日
外国人留学生入試		2月18日	2月25日

\* 大学入試センター試験は、1月14日・15日 \* 試験会場はすべて本学

エ 入学試験結果

志願者数 1,812人 (志願倍率 6.04倍)

合格者数 392人、入学者数 340人

(2) 大学院生

ア 募集人員 20人 (入学定員と同数)

イ 試験時期

区 分		試験時期
学内推薦	デザイン研究科	6月11日
A日程	デザイン研究科	7月30日
B日程	文化政策研究科	9月17日
C日程	デザイン研究科	2月17日
	文化政策研究科	

ウ 入学試験結果

志願者数 25人 (志願倍率 1.25倍)

合格者数 18人、入学者数 17人

5 学生の支援等

(1) 進路等支援

キャリアオフィスの機能 (学生の就職相談及び就職情報の提供等) の充実を図るとともに、学生の円滑な就職活動を支援するための事業を実施した。

なお、全学的な取組として進路委員会を新たに設置するとともに、進路支援等を統括する進路部長の職を設置した。

< 第9期生の就職状況 >

(平成24年3月31日現在)

	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
文化政策学部	232	187	175	93.6
デザイン学部	103	71	61	85.9
計	335	258	236	91.5

## ア 支援体制

就職情報に関する収集や発信の拡充等を図り、学生の就職活動の中心拠点となるようキャリアオフィス機能を充実した。

### a 学生との個別面談の実施

3年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導をするとともに、面談結果を踏まえた個別の就職支援を実施した。

### b 就職ガイドブック等の配布

就職活動の仕方などを記載した「就職ガイドブック」、内定者の報告をまとめた「就職活動体験記」を作成し、3年生及び教職員に配布した。

## イ 支援事業の実施

### a 企業等訪問及び情報交換会等の実施

県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。なお、企業訪問を担当する専門職員を新たに採用し、愛知県等の県外企業への就職先の開拓や情報収集を実施した。

また、教職員の引率による企業訪問・企業見学を行い、学生の就職意識の高揚を図るとともに、企業等の人事担当者を招き、教職員等との情報交換会を開催した。

(89社、116人の人事担当者が参加)

### b 求人依頼

静岡県内企業を中心に、全国約7,200社に求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。

### c 就職ガイダンス等の実施

- ・ 学内就職ガイダンスの実施 (全7回実施)

- ・ 進路支援ワークショップの開催

企業の若手社員等を本学に招き、学生との座談会を開催した。

(9業種の企業等から講師が来校し、287人の学生が参加)

- ・ 学内企業説明会

企業(50社)の採用担当者を本学に招き、会社の説明会を開催した。

(延696人の学生が参加)

- ・ 7大学合同企業ガイダンスの開催

愛知県と県西部地区の7大学が合同で行う企業ガイダンスに参加した。

(46人の学生が参加)

- ・ 県外の就職ガイダンスへの参加

首都圏で行われる大規模な就職ガイダンスに数多くの学生が参加できるよう、バスを手配し実施した。(40人の学生が参加)

### d 就職支援講座の実施

- ・ ビジネスマナー講座 (全3回実施)

身だしなみ、マナー、メイクの仕方などについて指導する講座を実施した。

- ・ 学生の資格取得講座等の実施

就職活動に必要な資格取得講座及び就職支援講座を本学にて開催した。

講座名	区分	受講者数(人)
公務員試験直前講座	教養科目	22
	専門科目	20
公務員試験対策講座	教養科目	23
	専門科目	17
パソコンのMCAS試験対策講座		54
模擬面接・グループディスカッション講座		235
簿記3級試験対策講座		21
ファイナンシャルプランナー試験対策講座		23

・ 就職関連試験の実施

試験名	受験者数(人)
適職発見テスト (CAREER APPROACH)	326
筆記試験対策 (S P I)	138
エントリーシート対策テスト	283
T O E I C 学内団体受験	560
秘書検定学内団体受験	66

e 求人情報等の案内

学生が企業情報収集しやすいよう整備を図った。

- ・ 企業毎のファイルにより、会社案内、求人情報を閲覧できるよう整備
- ・ 過去の卒業生の就職活動報告書をファイル化し、閲覧できるよう整備
- ・ 50万社の企業情報が収録されたCD-ROMを整備
- ・ 本学に届いた求人情報を検索できるよう、ネット (J-NET) を開設

f デザイン専門職への就職支援

デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について、ポートフォリオ講座を実施した。

(2) 学習支援

図書館の開館時間の延長、学生がインターネットによって英語及び中国語の学内外で学習することができるシステムの導入、学習支援に係る奨学金を支給するなど、学生の学習環境整備や支援等を実施した。

(3) 生活支援

東日本大震災により被災した学生に対する学納金の減免の実施、カウンセラーによるメンタルヘルスの相談など、学生生活の向上に向けた支援を実施した。

6 交流事業等の実施

(1) 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

ア 文化芸術セミナー、公開講座の開催

・セミナー、シンポジウム

開催時期	8月6日	1月11日	10月28日	2月9日
開催場所	大講義室	中講義室	講堂、 ギャラリー	講堂
開催内容	スポーツ文化 シンポジウム 「地域スポーツ 文化の創造」	多文化共生ワ ークショップ「ブ ラジルにおけ る継承日本語 教育」	吉田喜重・岡田 茉莉子講演会 ・展覧会	はままつユニ バーサルデザ イン国際シン ポジウム 2012
参加者数(人)	150	50	延べ 163	300

・公開講座

区 分	前期公開講座	後期公開講座
開催時期	6月18日～7月23日	11月27日～1月22日
開催場所	大講義室	大講義室
開設講座数	1講座	1講座
テーマ	フランス～豊饒なる六角形～	文化とデザインの時代Ⅲ
開催回数(回)	6	5
受講者数(人)	延べ 563	延べ 190

・公開工房

区 分	夏季公開工房	春季公開工房
開催時期	8月27日、28日	3月17日、18日
開催場所	自由創造工房	自由創造工房
開設講座種類	4講座	3講座
テーマ	・米粉で作るロールケーキ ・木炭デッサン ・ピンホールカメラ ・テキスタイル(手織り)	・木炭デッサン ・和紙と銅線を使った灯りの制作 ・テキスタイル(手織り)
開催講座数(回)	5	4
受講者数(人)	延べ 44	延べ 31

イ 産学官連携の推進

・第5回研究・開発成果発表会への参加

開催時期	6月10日
開催場所	アクトシティ浜松研修交流センター
発表内容	STLCAMの加工評価に関する研究
参加者数	140人
主 催	静岡県、静岡大学、静岡文化芸術大学ほか

・第4回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu2011 への出展

開催時期	7月20日～21日
開催場所	浜松市総合産業展示館
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数	参加企業等 253 団体、来場者数延べ 7,400 人
主 催	浜松商工会議所、浜松信用金庫

ウ 地域文化事業の実施、協力

・室内楽演奏会

開催時期	4月16日	5月14日	7月3日
開催場所	浜松市博物館展示ホール	講堂	カモシカの森の体験館
開催内容	上尾直毅クラヴィコード演奏会	サム・ヘイウッドピアノ・リサイタル	東京藝術大学生スピカ・クアルテット演奏会
参加者数(人)	65	130	70
開催時期	11月6日	11月27日	12月7日
開催場所	金原明善翁生家	講堂	ギャラリー
開催内容	金原明善翁生家で聴くマンドリンと琵琶の奏で	相曾賢一郎ヴァイオリン・コンサート	SWEETS CONCERT
参加者数(人)	100	230	96

・薪能

開催時期	10月5日～6日
開催場所	講堂、出会いの広場
内 容	第一夜：能講座 第一部『正尊』の背景 第二部「能と現代」 第二夜：薪能公演 狂言「清水」、能「正尊」
参加者数(人)	延べ 688

エ その他

ニュースレター「文化と芸術」の発行

文化・芸術研究センターを拠点に行っている研究の成果や、活動内容を紹介するニュースレター「文化と芸術」を年2回（9月と3月に各1500部）発行している。

(2) 国際交流事業

国際交流の推進を図るため、次の事業を展開した。

大学名 (国名)	事業内容
湖西 (ホソ) 大学校 (韓国)	交換留学受入・派遣 湖西大学校→文芸大 23.9～24.8/3人 文芸大→湖西大学校 23.8～23.12/2人 24.2～24.12/3人
上海工程技術大学 (中国)	(東日本大震災の影響により実施を中止。)
浙江大學城市学院 (中国)	交換留学受入 23.9～24.8/3人
フィンドレー大学 (アメリカ)	留学生派遣 23.8～23.12/2人 23.8～24.5 /4人
ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビット (イギリス)	留学生派遣 23.9～23.12/2人

(3) 大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

a 図書館の開放

実施日	月曜日～土曜日 (原則)
実施内容	利用対象者 20才以上の静岡県内在住・在勤者等 利用時間 平日：8時45分～20時、土曜日：10時～16時 利用範囲 図書の見学、貸出等 登録者数 629人 (平成23年3月末現在) 利用者数 6,411人/年 貸出冊数 2,809冊/年

b 自由創造工房の開放

実施日	月曜日～金曜日 (原則)
実施内容	利用対象者 中学生以上 工房の内容 手織り、木工等の創作活動 登録者数 102人 (平成24年3月末現在) 公開工房を夏休みと春休みに開催 (参加者数 8月44人、3月31人)

c 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。23年度には約2,048人の見学があり、うち小・中学校の総合学習(ユニバーサルデザイン施設見学)の場として、計7校から758人の児童・生徒を受け入れた。

## 7 図書館・情報センター事業

図書等の購入のほかに、企画展示、図書館・情報センターだより「温故知新」を刊行し、県内公立図書館での配布等を実施した。また、新入生全員を対象に必修科目「文化芸術総合演習」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法についての講義及び館内ツアー等を実施した。

運営面では、開館時間の延長（開館時刻の繰り上げ・閉館時刻の繰り下げ）を試行的に実施したほか、資料収集の基準となる「静岡文化芸術大学図書館・情報センター資料収集方針」の策定等を行った。

<図書館資料所蔵数> (平成24年3月31日現在)

区分	図書(冊)	視聴覚資料(点)	雑誌(種)
日本語資料	186,620	5,993	2,641
外国語資料	26,400	697	334
合計	213,020	6,690	2,975

<図書館利用状況> (平成23年度)

区分	入館者数(人)	貸出冊数(冊)	開館日数(日)
総数	126,985	38,328	284
(うち学生)	113,399	31,053	—

<他の図書館との相互協力> (平成23年度)

区分	資料貸借(件)	文献複写(件)	備考
依頼	63	562	資料貸借：学生76% 文献複写：学生60%
受付	97	252	—
合計	160	814	—

## 8 情報システム等の整備

### (1) 学内ネットワーク装置の更新

学内ネットワークサーバ、ネットワーク機器等の更新を行った。

### (2) 無線LANアクセスポイントの設置

固定式アクセスポイント1箇所、移動式アクセスポイント2箇所の設置を行った。

## 9 自己点検・評価の実施

### (1) 全学的な点検・評価

本学では、全学的な自己点検・評価を3年に1度行うこととしており、前回（平成21年度）の評価結果については年度計画や予算等に反映するとともに、平成24年度に実施する自己点検・評価の計画を作成した。

### (2) 学生による授業評価（アンケート）

学生による授業評価アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図った。また、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の履修登録の参考とした。

・平成 23 年度後期分の概要

区分	内 容 等
対象科目	後期科目 293 科目のうち 286 科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率 97.6%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「授業の運営」「総合評価」「自由記述」など 10 問程度
回答率	68.3%
総合評価	4.3< 5 点満点での評価による>

## 10 SD（スタッフ・ディベロップメント）への取組み

事務職員の研究・研修助成制度を導入するとともに、公立大学協会主催の研修会等に積極的に参加してSD活動の推進を図った。

## 23年度 事業別執行額の状況

(千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容	
教育研究経費	教育経費	学生募集経費	30,372	受験情報誌等広告、説明会開催経費ほか	
		入試経費	21,326	募集要項・試験問題作成費、試験実施経費	
		FD活動経費	1,615	学科別研修会開催経費ほか	
		学生経費	46,508	教材購入費、教育備品修繕費ほか	
		教育施設等修繕・管理経費	209,925	水道光熱費、設備管理委託費ほか	
		工房系教室情報システム経費	91,286	情報システム機器リース経費	
		学生支援経費	14,548	授業料減免、奨学金給付経費ほか	
		就職支援事業費	18,803	企業等訪問、就職ガイダンス、開催経費ほか	
		地域貢献事業経費	12,743	自由創造工房開放、公開講座、実施経費ほか	
		国際交流事業費	7,408	外国大学との交流事業経費ほか	
	研究経費	教員研究費	129,307	専任教員の教員研究費ほか	
		文化芸術研究センター管理運営経費	789	印刷物発行経費、センター管理経費ほか	
		教員研修費	2,646	専任教員の国内外での研修費	
	教育研究支援経費	図書館経費	38,505	図書館施設管理費、図書購入費ほか	
		情報システム経費	103,573	情報システムのメンテナンスほか	
	教員人件費	教員人件費	870,321	専任教員等の人件費	
		非常勤教員経費	71,259	非常勤講師等の報酬	
	一般管理費	管理経費	大学広報経費	26,683	大学パンフレット作成費、広告、掲載経費ほか
			教職員住宅経費	20,389	職員住宅維持管理費、借上、住宅賃借料ほか
施設・設備等修繕・管理経費			18,010	施設修繕費、警備、設備管理、委託費ほか	
大学運営一般管理費			44,422	事務局消耗品、電話料、複写機、使用料ほか	
役員報酬		53,171	常勤役員及び非常勤役員等の人件費		
職員人件費		467,406	常勤職員等の人件費		
受託研究等経費			6,261	学外機関からの受託研究、受託事業経費	
合計			2,307,276		

(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

第6回静岡国際オペラコンクールを下記のとおり開催

ア	開催期間	平成23年11月12日(土)～11月24日(木)
		(予選)11月12日(土)～17日(木)
		(本選)11月20日(日)
		(入賞者記念コンサート)11月22日(火)、24(木)
イ	会場	(予選・本選)アクトシティ浜松大ホール
		(入賞者記念コンサート)静岡音楽館AOI
		紀尾井ホール
ウ	入賞者	第2位/三浦環特別賞 吉田 珠代
		第3位 イム・チャンハン
		第3位/オーディエンス賞 高橋 絵理
		※第1位 該当者なし
エ	入場者数	コンクール 3,408人
		入賞者記念コンサート 810人
		総入場者数 4,218人